

増嵩により、互助会運営も昭和39年度よりたいへん苦しい状態になってきた。昭和39年度決算見込額では、19,325千円というこの制度としてこれまで類をみなかった巨額の赤字が推定され、この收支不均衡の傾向は、昭和40年度に入ってますます激しさを加え、現在のままで推移した場合、昭和40年度の収支試算では累積赤字額は約47,564千円の巨額に達することが予想される。この結果、現状では各保険医に支払う家族医療費が、支払契約日より約2カ月遅延し最悪の事態に立ち至っている。

このようなことから、当面県補助金増額の実現が焦眉の課題となっているが、県財政事情等によりいま直ちに多額の県補助金の増額は望めない状態であるので互助会自体として掛金の改訂、退職金の検討など事業運営の改善を図る必要に迫られている。以下実施した事業の実績を記してみると

会員の状況

昭和40年3月31日現在教職員互助会員および被扶養者数調

会員数 19,394人
被扶養者数 30,274人

会員1人当たり被扶養者数 1.56人

教職員互助会損益の推移比較表により過去4か年の事業実績は別記のとおりである。

(単位千円)

区分	科 目	36 年 度				37 年 度				38 年 度				39 年 度			
		件 数		金額	割合	件 数		金額	割合	件 数		金額	割合	件 数		金額	割合
收 入	掛 捧 そ の 他 の 収 入 合 計	74,310	84.4%	83,916	86.7%	112,9	94,826	87.7%	127,6	107,886	88.4%	145,1					
	助 金	13,420	15.2%	12,392	12.8%	92,3	12,800	11.8%	95,4	13,576	11.1%	101,1					
	入 費	372	0.4%	437	0.5%	117,4	554	0.5%	148,9	599	0.5%	161,0					
	合 計	100	100	100	100	109,8	108,180	100	122,7	122,061	100	138,5					
支 出	家 族 医 療 补 助 金	147,672	55,696	70,2%	157,18	66,896	70,3%	120,1	162,532	81,571	71,0%	146,4	179,933	101,950	72,4%	183,0	
	扶 金	227	250	0.3%	1	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	助 金	1,461	1,461	1.8%	265	1,688	1.8%	291	2,128	1.9%	18	1,739	1.5%	316	2,196	1.5%	
	入 費	16	628	0.8%	19	1,309	1.4%	18	5,496	4.8%	697	6,56	5.180	49	2,291	1.6%	
	合 計	762	6,008	7.6%	604	4,760	5.0%	1,333	1,568	1.4%	1,333	1,568	1,485	1,449	5,180	3.7%	
	会 員 費	1,451	1,710	2.2%	1,374	1,606	1.7%	1,179	1,433	14,642	12,7	140,5	146,1	18,544	13.2%		
	扶 金	377	8,137	10.2%	429	12,044	12.7%	25,573	22,6	22,3	7,727	6,760	7,727	142,2	29,896	21.2%	
	入 費	18	18,194	22.9%	21,457	22.6%	7,1	6,760	6,760	100	114,871	100	144.8	140,859	9,013	6.4%	
	合 計	5,432	5,432	6.9%	79,322	79,322	100	95,113	100	100					100	177.5	
損 益	单 累 年 度	(+)	(+)	(+)	8,780	4,532	(+)	1,632	6,164	(+)	6,691	527	(-)	(-)		18,798	19,325